

皮膚・排泄ケア 認定看護師

転機により得たもの

再就職できたこと、認定スクールへ通学できることは病棟スタッフ始め、周囲の方々の協力があったことであり、日々感謝の気持ちを持って看護にあたるできるようになった。再就職という経験をしたことで当院の質の高い医療と看護に誇りを持って仕事ができるようになった。

第1の転機

25歳・・・

地元への就職を考え、退職。WOCを取得したい思いと仕事のやりがいに悩み、以前の上司(当院在職中の)に相談。当院への再就職を決意。

第2の転機

29歳

宮城認定看護師
スクール入学。

30歳

皮膚排泄ケア
認定看護師
資格取得。

29歳～現在

皮膚排泄ケア認定看護師
として・・・

26～28歳

認定看護師取得に向けて・・・

WOCNとしてストーマ外来を設立。術前～術後、社会復帰までストーマ造設・閉鎖術を受ける患者と関わることで信頼関係を築きながら看護を行う。ストーマケアや創傷処置については医師からの相談を受けることも多い。消化器外科病棟に勤務し、専門的な知識をスタッフ教育にも生かし、よりよい看護の提供に努めていると共にWOCNを目指す後輩指導にも取り組んでいる。



21～23歳

呼吸器外科病棟勤務

祖父が気管切開し、スピーチカニューレを使用しながら生活しており、ケアする看護師の姿を見ていたことがきっかけで、呼外を志望。人工呼吸器管理や様々な疾患について学ぶことができた。

23～25歳

消化器外科病棟勤務

ストーマケアや褥瘡、創傷処置に関わり、WOC分野に興味を持つようになる。様々な勉強会に参加。後輩指導にも力を入れて取り組む。

消化器疾患・手術・周手術期看護について学びながら、「患者の求める看護」について考えながら看護に努める。皮膚排泄ケア認定看護師取得に向けて、様々な症例について学び、経験を深める。宮城認定看護師スクール受験に向けて自己学習をすすめる。



岸田 さつき
さん

2000年3月：
山形県立保健医療短期大学卒業
2000年4月：入職
2010年：皮膚・排泄ケア認定看護師
となる。
2011年3月1日：病棟主任になる。

私は皮膚排泄ケア認定看護師として消化器外科病棟に所属しています。ストーマ造設術を受けられた患者さんとそのご家族のケアを行い、安心した生活を営むことが出来るように努めています。個々の患者さんの不安や疑問にじっくり対応し、「患者さんの求める看護」を目指しています。病棟勤務ということもあり、学んできた専門的知識・技術をスタッフ教育にも生かしています。WOCNを目指す看護師の育成や相談にもものっています。